

ご存知ですか？

闘病記文庫【さくらんぼ】

皆さん、羽曳野図書館センターの闘病記文庫をご存知ですか？

この闘病記文庫【さくらんぼ】は、市民研究グループ「健康情報棚プロジェクト」から闘病記800冊の寄贈をうけて、2006年7月7日に開設しました。

毎年100冊ほど新しい本を整備し、2021年末現在で1,850冊程度を所蔵しています。



Q&A

Q1. どこにあるの？

A1. 羽曳野図書館センター2階にあるカウンターの手右にあります。

Q2. どうすれば利用できるの？

A2. 地域にお住まいの方も利用できます。お名前と現住所を確認できるもの（職員証・学生証・運転免許証・健康保険証など）をご持参のうえ羽曳野図書館センターカウンターで所定の手続きを行ってください。闘病記文庫【さくらんぼ】の閲覧・複写・貸出などのサービスをご利用いただけます。

闘病記を読むことの意味



1. 病いとともに生きる人を広く理解することができる
2. 病いとともに生きる人とその家族の生活を想像したり理解したりすることにつながる
3. 生と死を考える機会となる
4. 自己をみつめる機会となる

→ 病いとともに生きる人を理解し、ケアを考え実践していくうえでの手がかりとなる

闘病記の一部抜粋

著者	書名
佐々木 絵理	その一瞬風になる
いのうえ さきこ	私、なんで別れられないんだろう：脳が壊れた彼との日々
長谷川 和夫	ボクはやっと認知症のことがわかった：自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言
藤代 純	自殺した息子よ!：「統合失調症」とむきあう家族の手記
渡辺 一史	こんな夜更けにバナナかよ：筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち
嶋藤 登美子	たっくん：生きたいと頑張った3年2カ月の記録
山内 梨香	がけっぷちナース：がんとともに生きる
神戸新聞明石総局	じきしんいのちの物語

闘病記貸出回数ベスト5

1. がんばれば、幸せになれるよ：小児がんと闘った9歳の息子が遺した言葉
2. みじかい命を抱きしめて
3. はなちゃんのみそ汁
4. ボクには世界がこう見えていた：統合失調症闘病記
5. 僕の妻はエイリアン：「高機能自閉症」との不思議な結婚生活

このように病名別に配架されています。
ぜひ一度、羽曳野図書センター2階の
闘病記文庫【さくらんぼ】まで足を運んで
あなたの気になる本に出会ってください。



【羽曳野図書センター】

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
羽曳野キャンパスN棟 Tel 072-950-2956



開館スケジュール

月～金	授業のある日	8時30分～21時
	授業のない日	9時～19時
土	-	10時30分～19時
休館日	日曜日・授業のない祝日、蔵書点検期間、年末年始、入学試験日、電気設備点検日	

<http://www.nursing.osakafu-u.ac.jp/center/cerry/>

 大阪公立大学 看護学研究科

